

令和5年度「大阪IR（統合型リゾート）説明会」（第4回） 当日の質問への追加回答について

	質問	回答
1	大阪府では、府民にどれほどオンラインギャンブル、海外の違法サイトもあると思うんですけれども、そういうのも含めて、既存のランドギャンブルじゃないですよ、オンラインギャンブルについて、どれほど府民が利用されているか調査をされたことはあるか、ないか。あればその資料をご紹介いただきたいというのが一点。 それから大阪府下における病的ギャンブル依存症者の人数を合計数で把握されておられるか、おられないか。これが二点。 3つ目は、そのうち、今、ギャンブル被害が主流になってるオンラインギャンブル被害というのは全体の何割ぐらいになってるか。この点、明確にお答えいただけたらと思いますし、できなければ後日でも結構です。	令和4年度に実施しました府の「健康と生活に関する調査（以下「同調査」という。）」において、「経験したギャンブル等の種類：パチンコ/競馬ほか/宝くじ/インターネットを使ったギャンブル（公営競技など購入分を除く）/海外カジノ/その他のギャンブル 他」、「公営競技（競馬等）や宝くじ等における主な券等の購入方法について：ギャンブル場等/オンライン/両方」を質問項目としております。 また、同調査において、ギャンブル障がいのスクリーニングテストである SOGS の尺度を用いて「ギャンブル等依存が疑われる者」の割合を推計しています。SOGS 5点以上の割合は1.9%であり、府の成人人口にあてはめると、約14万3千人と推計され、そのうち、ギャンブル障がいに該当する人は約半数と推定されます。 複数種類のギャンブル経験を有する方がおられるなか、オンラインギャンブルを原因とする依存症の方の割合を算出することは困難です。